

速報! 安城の遺跡から

# 令和3年度発掘調査結果

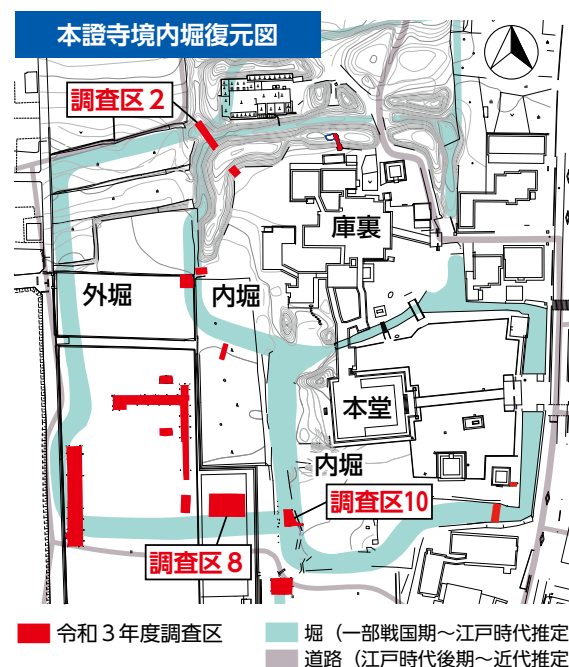
市内では、250カ所を超える遺跡が確認されています。

令和3年度に行った発掘調査17件、試掘・確認調査23件のうち、3件の調査結果を紹介します。

## 本證寺境内 (野寺町)



鎌倉時代後期(13世紀末)に慶円によって開かれたと伝わる浄土真宗の寺院です。徳川家康を苦しめた三河一向一揆(1563年)では一揆方の中心地的拠点となりました。二重の堀(内堀・外堀)と土塁に囲まれ、城郭寺院とも呼ばれます。平成27年に国史跡に指定されました。市では、本證寺境内の保存、整備、活用に向けた調査を行っており、令和3年度に21回目の調査を行いました。



## 発見2 調査区8 戦国期の鍋を発見!

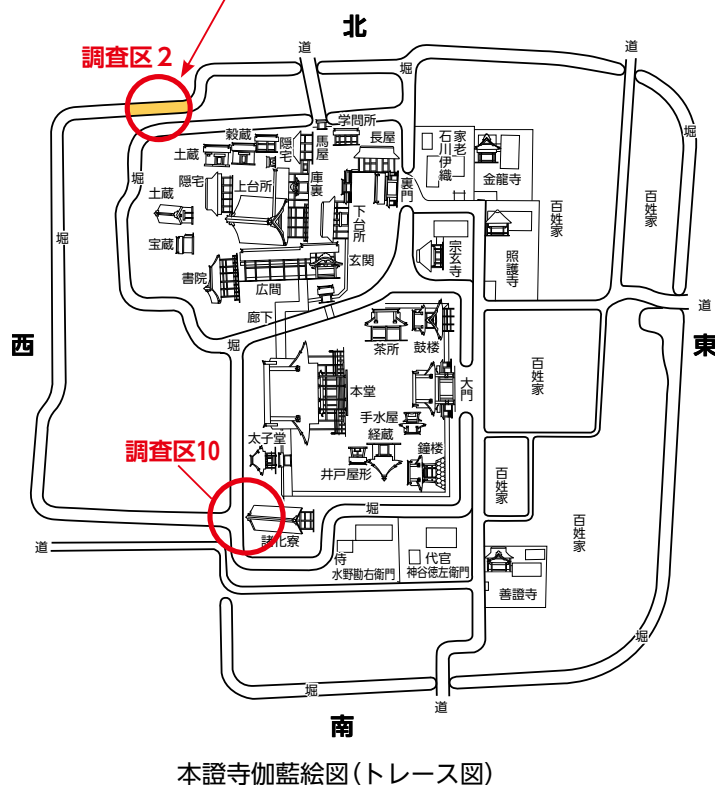


戦国期の鍋が出土しました。鍋は煮炊きを使う道具です。過去の調査でもたくさんの鍋が見つかっています。三河一向一揆前後に寺で使われた鍋でしょうか?

## 発見1 調査区2 江戸時代の外堀を新たに発見!

江戸時代(寛政年間1789~1801年)の本證寺伽藍絵図には、庫裏の北西では外堀と内堀は東西方向へ平行したのち、外堀は北へ向かう様子が描かれています。

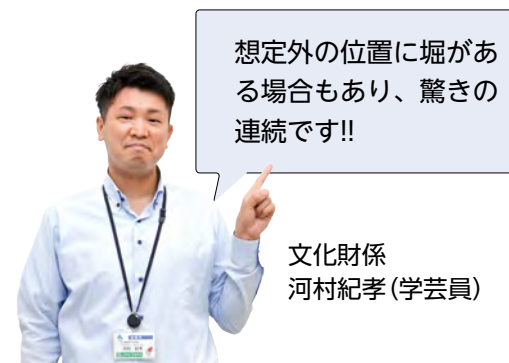
調査の結果、絵図のとおり東西へと続く外堀が発掘されました。



## 発見3 調査区10

## 戦国期の外堀は境内の下へと続いていた!

調査の結果、戦国期の外堀は境内の下へと続くことがわかりました。このことから伽藍絵図が描かれた江戸時代と戦国期では堀の位置が異なっていたようです。



▲調査区10(西から撮影)

## 中開道遺跡 (桜井町)

## 発見 古墳時代後期~飛鳥時代の珍しい耳環が出土!

中開道遺跡は、平安時代~江戸時代の集落遺跡です。今回の調査では、カマドが付いた竪穴建物跡が4棟見つかりました。また、飛鳥~奈良時代の須恵器の碗や土師器の甕の他、耳につける装飾具の耳環が出土しました。耳環は、市内でも数個しか見つかっていないため、貴重な発見になりました。

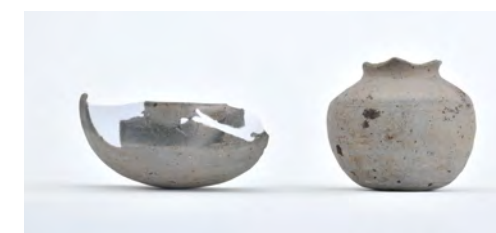


出土した耳環

## 堀内貝塚遺跡 (堀内町)

## 発見 奈良~平安時代の土器や建物を発掘!

堀内貝塚遺跡は、縄文時代晩期~近代の集落遺跡です。今回の調査では、奈良~平安時代の須恵器の壺や碗、掘立柱建物や溝等が発掘されました。周辺の寒池遺跡や中開道遺跡でも同時代の遺物が見られることから、古代の人々の集落は3つの遺跡に重なる範囲に広がっていたのかもしれません。



出土した須恵器 鉢(左)・壺(右)

## 文化振興課からのお願いとお知らせ

### 家を建てる際は一報を

遺跡は、安城で暮らした私達の祖先の歩みを記憶した、かけがえのない歴史遺産です。市では、開発等でやむを得ず破壊される遺跡について、法律に基づき事前に発掘調査をしています。住宅建設等の開発工事を行う計画があれば、文化振興課までお知らせください。

### 調査成果の展示

今回紹介した調査結果等は埋蔵文化財センターで展示しています。調査や展示品を紹介するパンフレットも配布していますので、ぜひご覧ください。

### 展示日時

(火)~(日)午前9時~午後5時(月曜日が祝日の場合は開館)

